

良質で安心していただける医療を

まいづる きょうさい

<http://www.maiduru.com>

2016
2

Vol.26

Maizuru
Kyosai
Hospital

公益財団法人
日本病院機能評価機構
病院機能評価 Ver6.0
認定病院



地域医療支援病院認定施設

Contents

年頭のご挨拶	2
災害避難訓練報告	3
理念・基本方針	3
イベントレポート (体育部活動報告)	4・5
市民医療フォーラム報告	6
お薬のお話し	6
すこやかな森ニュース	7
診療時間・外来各科診察担当医 ..	8



「雪の朝のクレインブリッジ」 Photo / 刑部 正人先生 (循環器内科)

国家公務員共済組合連合会

舞鶴共済病院

発行人／布施 春樹 編集／舞鶴共済病院広報委員会
〒625-8585 京都府舞鶴市宇浜1035番地
TEL0773-62-2510 FAX0773-64-4301

ホームページもご覧ください

舞鶴共済病院

検索



平成28年 年頭のご挨拶

皆さん、明けましておめでとうございます。年頭に当たりまして一言ご挨拶させていただきます。

昨年は激動の1年であったと言われていました。国のあり方が変わるような法案が成立し、私たちにとって「国とは何か」を考えさせられる1年でした。また政治のみならず、一流企業、研究機関の信頼が揺らいだ年でもありました。免震ゴムのデータ偽装は近隣の医療機関でも起こったことで、舞鶴市の医療体制に少なからず影響しました。また、血液製剤の40年に及ぶ記録偽装は信じがたいものでした。その他、世界各国で起こるテロ事件や沖縄辺野古問題、TPP交渉、原発再稼働問題などなど無視できない問題が山積しています。しかし、一方でラグビーのワールドカップでの日本チームの活躍は「歴史を変えた」と賞賛されました。ノーベル賞も2人が受賞し、日本人受賞者は2年連続となりました。年末に飛び込んできた113番目の新元素命名権が日本に指定されたニュースは、ノーベル賞受賞のニュースとともに日本の基礎研究のレベルの高さを証明した快挙でした。また、舞鶴市におきまして「引揚記念館」がユネスコ世界記憶遺産に登録されたことは、長年の地道な活動が評価された明るいニュースとなりました。

一方で医療情勢を考えると、年々その厳しさを増し、特に地方の医療情勢はますます厳しくなっています。大都市へ医師が集中し、地方に医師が来ない、いわゆる医師の偏在化は改善の兆候はなく、むしろ悪化しています。患者減少の一因といわれている地方都市の人口減少・高齢化も大きな問題です。団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題を見据えながら病床機能報告制度も始まり、各病院の機能に行政の指導が入っていくことになります。このような状況の中で、当院は高度急性期および急性期病床を有する基幹病院としての役割は持っていくことが求められます。

さて、当院は昨年4月をもって新病棟建築、その他既存施設の改修はおおむね終了しました。減価償却費の支払いによる支出増加もあり、医業収支は大変厳しいものとなりました。しかし、今後病院に必要と思われる医療材料・医療機器については積極的に導入するつもりです。当院の現状を今以上に十分把握し、それに基づいて今後の対応を考えることとして以下に4点挙げさせていただきます。

まず、第一に医師の確保です。喫緊の課題としては内科

医師の確保、特に血液内科医師の確保です。6床ある高度無菌病床の有効活用のため、常勤医確保は必要です。また、総合内科の医師を確保し内科の門戸を広げることは、病診連携の強化のためにも地域医療支援病院の役割を果たすためにも必須のことと認識しています。さらにこれから新専門医制度も開始されることを考えると、関連・関係大学との連携が今以上に必要になってきます。さらに、研修医についても「研修医なき病院に常勤医なし」のコンセプトは変更なくこれからも様々な方法で募集していきます。

第二に当院を「患者さんに選ばれる病院」に如何にしていくかです。「良質で、安全・安心な医療を提供する病院」であることが基本にあります。そのためには各診療科で、また各部署でそれを考えていかなければできません。各部署の個人個人がスキルアップし、各人がプロとしての自覚をしっかり持っていただきたいと思います。これらはいわゆる「チーム医療」の推進に繋がることから、高度急性期・急性期病院としての必須事項として位置づけています。今度の病院機能評価の認定審査をきっかけに、チーム医療の推進が図れ、さらに深まることを期待しています。

第三は職場環境の改善です。病院全体としてもコミュニケーションを確立し、情報の共有をすることも、以前からの課題です。IT機能を活用することは大事ですが、職員の皆さんが病院の現状について関心を持ってもらえるような情報を発信しようと思います。

第四は医師のみならず、看護師その他コメディカルスタッフの適切な配置です。看護部は7対1看護体制を堅持していきますが、病床稼働率との兼ね合いもあり、これからはさまざまな状況を想定しなければいけません。昨年12月よりメンタル・ヘルス対策として年に1回の「ストレスチェック制度」の義務化が施行されました。各職場で過重労働にならないような職員配置が求められてくると思います。将来の病院機能を考えながら、適切な配置を提言していきたいと考えています。

当院が患者さんに選ばれる病院としての環境づくりを、そして職員の皆さんには「この病院で働きたい、働き続けたい」と思っただけの環境づくりに邁進したいと思います。

最後に平成28年が、皆さん一人一人にとって、また舞鶴共済病院にとって良い年になるように祈念しまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。

平成28年1月4日

病院長 布施 春樹

災害避難訓練

去る平成27年11月6日、舞鶴共済病院 災害避難訓練を実施いたしました。

建築工事の関係で4年ぶりの訓練となりました。

訓練前日が津波の日ということもあり、舞鶴市でも訓練放送が市内全域で放送されました。今回は当院としても初めて地震、津波を想定した避難訓練を計画し、速やかに避難をするべく行動手順を確認しました。

当院の大規模地震対応消防計画に沿って、病院長は自衛防災隊長、事務部長は統括指揮者、看護部長、看護部次長、薬剤部長は地区隊長、総務課長は統括管理者の補佐という構成でB棟7階なばなに自衛防災本部を設置し、災害時の自衛防災組織を編成しました。

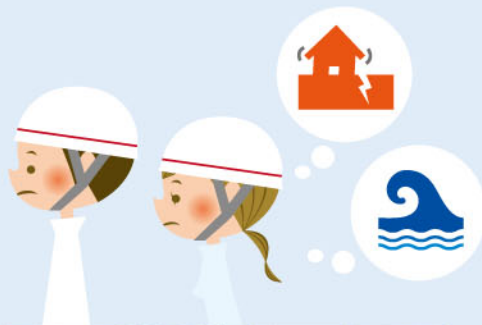
避難訓練は大津波から逃れるためB棟の東側外部非常階段を使って7階に避難する想定（B棟7階は食料物資があり、一番高い建物なので避難場所に選定した。）で、模擬患者役は病棟、外来から各3名、コメディカル（医師、看護師以外の医療従事者）から2名参加をお願いし、訓練終了後はC棟北側職員駐車場で地震体験をして解散という流れで訓練を終了。

模擬患者役の職員、避難誘導役の方々は黙々と避難行動をとられ、慌てず騒がず、非常放送の指示どおり真剣に取り組んでいただきました。

今回の訓練での課題は自分で歩けない人や車椅子の人、保育器に入った新生児等を、どうやって階上へ避難させるのか、また手術中などで避難できない時にどうするのか、ライフラインが寸断されたら等々……特に津波が襲って来たらレスキューは来ません、個々の瞬時の避難行動判断が求められます。

難しい問題が沢山残りましたが、この訓練を機に次回以降は実際に災害が起きたときのシミュレーションにもっと肉付けし、訓練の大切さを職員皆が共有の意識を持って臨んでいけたらと考えます。

防火・防災担当 高田 鉄也



舞鶴共済病院 理念と基本方針



理念 Idea of Maizuru Kyosai Hospital

当院は患者さんに
良質で安心していただける医療を
提供いたします

基本方針 Basic Policy

1. 良質で安全な医療

私達は安全で質の高い医療をめざし患者さんの信頼を得るよう全力を尽くします

2. 患者さんを中心とした医療

私達は患者さんの人格・権利を尊重し十分な説明を行うとともに患者さんの了解のもとに医療を行います

3. 地域との積極的な連携

私達は地域の医療ニーズに応え地域と密接な連携を大切にします

平成27年度 体育部活動報告

5月

新入職員歓迎
ボウリング大会

新入職員さんとの懇親の機会の1つとして新入職員歓迎ボウリング大会を開催しました。53名の職員の方に参加して頂き、全11チームで点数を競い合いました。

団体優勝は、薬剤科チーム（竹田先生・多賀野先生・足立先生・神谷先生・銭先生）が見事勝ち取りました。個人では、男子は医事課の田村淳さん、女子は看護師の福原明美さんが優勝となりました。また、新入職員さんの個人優勝は、医事課の家原葵さんとなりました。新入職員の皆さんもボウリング大会を機に和を広げられたのではないのでしょうか。



7月

舞鶴市民
ちゃったレガッタ

舞鶴市民ちゃったレガッタに参加させて頂きました。37名の職員が参加し、当院は、男子チーム3艇、男女混合チーム3艇の6艇で大会に挑みました。

舞鶴市民ちゃったレガッタは、今年度で創立30回目を迎えました。なんと当院は創立以来全大会に連続出場しています！そのため、舞鶴ボート協会より感謝状を頂いちゃいました（ありがとうございます）。

今大会は、節目の大会でもあるので優勝したいところでしたが、すべてのチームが準々決勝で敗退となってしまいました。残念！来年度は、頑張りましょう。



10月 ソフトバレーボール大会

ソフトバレーボール大会を開催しました。今大会では、10チームの参加で競い合っていました。優勝をするため、ストレス発散のため、運動不足の解消のため、個々、色々な目的を持って大会に参加されたことと思います。試合は、はじめに2ブロック5チームで総当たり戦を行い、2ブロックの上位3チームが決勝トーナメントに進出するルールとしました。優勝を勝ち取ったチームは、手術部（佐々木・村田・西森・高橋・渡邊有紀・中橋・渡辺莉可）チームでした。まなぶ（野口学・内藤・白田・民安・山田・奥村・田村静・海老原・江口）チームは、決勝戦まで全勝で勝ち進んでいましたが惜しくも手術部に敗れ、準優勝。3位は、栄養科（山口・市川・竹上・谷口・西本）チームとなりました。しかしながら、まなぶチームと栄養科チームは、練習の成果もあって昨年度よりもはるかに順位を上げてきました。今大会の結果を踏まえ、来年の優勝に向けて練習に励んでいるチームもあるとかないたか。来年度も楽しみです。



また、倶楽部活動としてランニング倶楽部や卓球部、野球部が現在活動を行なっております。興味のある職員の方は、体育部までご連絡下さい。

体育部は、こうした活動を通して色々な職種間や職場の和を広げ、職員同士が互いに楽しんだり充実感を満たすことのできる働きやすい職場環境作りに少しでも貢献出来ればと思い、取り組んでいます。来年度も企画しますので、是非こういった機会に参加して頂き、大いに楽しんで頂ければと思います。最後に今年度も体育部行事に参加して頂きました職員の皆さん、事故のない楽しい大会運営にご協力頂いたことに心より御礼申し上げます。来年度もどうぞ宜しくお願い致します。

体育部 部長 上野

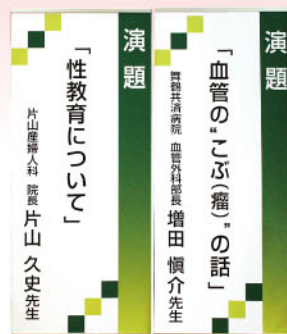
第8回市民医療フォーラムを 開催しました

本年度も一般市民の皆様を対象に、当院と一般社団法人舞鶴医師会共催により、舞鶴市政記念館ホールにおいて平成27年9月12日（土）に開催致しました。

当院からは、血管外科部長 増田 慎介 先生が『血管の“こぶ(瘤)”の話』と題し、血管に瘤ができる大動脈瘤と下肢静脈瘤の原因や症状、最新の治療方法について講演致しました。

また、舞鶴医師会より片山産婦人科院長 片山 久史 先生には『性教育について』と題し講演していただきました。妊娠や避妊、中絶など、若年女性を中心とした「性」の現状から、晩婚化に伴う出産年齢の高齢化について紹介されました。また、「性」の正しい知識を教える性教育の大切さについて、貴重なお話を聴くことができました。

145名の幅広い年齢層の方々に参加して頂き、盛況に講演を終えることが出来ました。今後とも市民の皆様に健康な生活を送っていただけるような催しを企画させていただきます。後になりましたが、後援して頂きました京都府、舞鶴市、舞鶴市教育委員会、舞鶴歯科医師会、京都府薬剤師会の皆様並びに関係スタッフの皆様に、心よりお礼申し上げます。



お薬のお話し

「おくすり手帳」を活用しよう!

「おくすり手帳」について

- 「おくすり手帳」は、患者さんと医療機関との間をつなぐ大切な「連絡帳」です。
- 「おくすり手帳」には薬の情報だけでなく、医療機関に伝えたい内容を記入することもできます。
- 京都府では連携を行いやすくするため、医師会・歯科医師会・薬剤師会が共同で「おくすり手帳」を作成されています。
- 舞鶴共済病院では、「おくすり手帳」を活用することで安全に治療を受けていただけるよう、無償で配布しています。



「おくすり手帳」活用の心構えについて

- 医療機関や薬局ごとに分けて、お薬やご自身の情報を1冊にまとめる。
- 他人にも分かるよう、常に最新のお薬情報や副作用歴を記載し、手帳を変える際には重要な情報を転記しておく。
- 気付いたことを記載し医療機関に見せ、医療機関からも注意点や検査値などを記載してもらう。
- 受診時以外でも常に携帯し、事故や災害時にも役立てられるよう管理する。

「おくすり手帳」の携帯率について

- 舞鶴薬剤師会では、毎年「おくすり手帳」の携帯率を調査されており、携帯率は上昇傾向です。100%を目指し、携帯してください。



薬 剤 科



平成28年新年の挨拶



施設長 山本 富一

皆様、明けましておめでとうございます。家族の皆様と穏やかなお正月を過ごされましたでしょうか？施設では昨年一年間を通して、大過なく過ごす事が出来ました。施設長として、まず皆様に御礼申し上げます。

昨年は僕のように団塊世代の高齢者にとりまして、身に染みる流行語が巷にあふれました。何とも複雑でした。「下流老人」、「老後崩壊」、「介護難民」、「介護離職」です。

今の高齢者は若い頃から家族のために、老後のために、一生懸命に真面目に働いてコツコツ貯蓄もしてきました。今になって、なんという厳しい仕打ちかと恨めしく思っている人も少なくないと思います。

そんな理由もあって今年の挨拶には、あえて介護の事を話したいと思います。介護を取り巻く環境は大きく変わりつつあります。国の施策の方向は施設介護から在宅介護へ大きく舵を切りました。地域包括センター構想、リハビリ病院、包括病床新設が整備されて、老健に対しても自宅復帰強化などが求められています。一方で病院のベッド数は毎年減少し、特に療養型病床は全廃とも言われています。2025年問題と騒がれている高齢者介護、そのあとに必ず訪れる多死時代。いったい誰がどこで、どのように対応するのでしょうか？

国民（特に家族）の希望は施設介護であることも明らかです。いろんなことを勘案して、国は急きょ介護ベッドを50万床増やすと発表したのは、皆様ご承知の事です。介護職員不足の時代に、50万床もの介護ベッドを誰がどのようにして運用するのでしょうか？

私達老健は2025年問題に対して、何ができるのでしょうか？何を求められるのでしょうか？今まで通りに中間施設に固執するだけでよいのでしょうか？

日ごろから少しずつ考えてみる必要があります。介護の現場で働くものとして、介護を一生の仕事にするには覚悟が必要です。平成28年は改めて介護の問題を自分なりに考え、これからの「すこやか森」を考える年にしたいと思っています。

昨年には多くの職員に苦勞をかけて、第三者評価も受けました。雑誌社の取材を受けて評価も受けました。「すこやか森」の良質な介護が世間から認められて初めて自信のある「すこやか森」なのだと思います。

しかし最近では新しい問題も顕在化しています。一つは利用者の皆さんの中には多くの病気を抱え、多数の薬を服用し、まだ継続的治療が必要な利用者さんが増えていることです。老健では提供が難しい医療を希望される方も少なくありません。良質な介護を提供することが私達の大切な本来の仕事ですが、家族や本人の希望が多様化している現実も無視できません。「すこやか森」の職員は開設以来の勤続職員が18名もおり、この辺の事を感じている職員も多いと思います。皆さんの智恵を借りながら、乗り越えて行きたいと思っています。

次の28年度の問題は施設そのものの問題です。「すこやか森」は開設17年になりました。予測されたことですが、施設建物や設備の老朽化問題が浮上してきています。昨年、開設以来初めて専門家に調査を依頼しました。エレベーター改善など、多くの問題点の指摘を受けました。事務部長や病院施設課ともよく相談しながら、事業計画として、5年ほどかけて、無理のないように、緊急性のあるところから手を付けていくつもりです。その都度、皆様にはご不便をおかけしますが、ご協力をお願いしたい所存です。

現在の心境を述べて、平成28年も事故のない穏やかな1年であることを願い、新年の挨拶と致します。どうぞよろしくお願いいたします。



診療時間・外来各科診察担当医

H27.11.6 現在

診 療 科		月	火	水	木	金	
総合内科※1		再 診	湯地 雄一郎	湯地 雄一郎	湯地 雄一郎	湯地 雄一郎	
呼吸器内科・神経内科※1		(予 約)	—	【神経内科】	【呼吸器内科】	【神経内科】	
血液免疫内科		血液内科	—	—	—	—	
		リウマチ膠原病内科※1	—	—	—	梅原久範(初・再診)	
消化器センター	消化器内科※1 外 科	1診【消化器内科】	渡邉 国嗣	担当医	渡邉 国嗣	井本 智宏	
		2診【消化器内科】	廣瀨 昌尚	井本 智宏	山本 富一	廣瀨 昌尚	
		3診【共通】	—	—	—	午後 【緩和ケア 外来・相談】 (予約制)	—
		午後【消化器内科】	【検 査】	—	【検 査】	—	【検 査】
		4診【外科】	竹内 一雄	竹内 一雄	担当医	竹内 一雄	担当医
		5診【外科】	成瀬 貴之	佐藤 嘉紀	千田 勝紀	千田 勝紀	【手 術】
		午後【外科】	【手 術】	【検 査】	【手 術】	【検 査】	【手 術】
循環器センター	循環器内科	1診(初診)	加藤 雅之	刑部 正人	上林 大輔	田川 雅梓	白井 公人
		2 診	田川 雅梓	上林 大輔	刑部 正人	亀井 俊治	亀井 俊治
		3 診	石瀬 昌三	三好 真智子	加藤 雅之	白井 公人	—
		4 診	【ペースメーカー外来】※4 児島 成之	【不整脈(初再診)】※1 児島 成之	—	—	【不整脈(初再診)】※1 児島 成之
	心臓血管外科※1	1診【心臓外科】	—	松下 努	—	松下 努	
		2診【血管外科】	【手 術】	【手 術】	増田 慎介	【手 術】	増田 慎介
		(予 約)	—	—	—	(第1・3週)【ステントグラフト外来】※4 坂井 修	
小 児 科		1 診	野口 正	堀澤 徹	野口 正	堀澤 徹	
		2 診	堀澤 徹	野口 正	増田 淳司	堀澤 徹	
		午 後 (予 約)	【予防接種】※5 堀澤 【慢性疾患外来】 担当医	【乳児検診】※5 担当医 (第3週・予約)【神経外来】加藤 【慢性疾患外来】担当医	【心臓外来】池田 【慢性疾患外来】 担当医	【予防接種】※5 野口 【アレルギー外来】増田 【慢性疾患外来】担当医	【慢性疾患外来】担当医 〈冬期間〉 【シナジス・インフルエンザ予防接種】
		1診(初診)	野口 学	【手 術】	松田 正樹	内藤 充啓	松田 正樹
2診(再診・予約)	松田 正樹	野口 学	野口 学				
3診(再診・予約)	内藤 充啓	内藤 充啓	松田 正樹		内藤 充啓		
皮 膚 科※2		1診(再診)	—	木崎 二郎	—	益田 浩司	
泌尿器科		1 診	岩崎 比良志	布施 春樹	布施 春樹	岩崎 比良志	
		2 診	—	谷尾 信	谷尾 信	—	
		午 後	【検 査】	布施 春樹(予約のみ) 【手術】／【検査】	【手 術】	布施 春樹(予約のみ) 【検 査】	【手 術】
産婦人科		1診【婦人科】	河原 和美	坂野 陽通	河原 和美	坂野 陽通	太田 可奈子
		2診【産科／婦人科】	太田 可奈子	河原 和美	太田 可奈子	河原 和美	坂野 陽通
		午 後	—	(予約)【腫瘍外来】	【手 術】	—	【手 術】
眼 科		1 診	山脇 敬博	山脇 敬博	—	—	
		午 後	【手 術】	—	休 診	酒井 克之 受付13:30～15:30 診察14:00～16:30	休 診
耳鼻咽喉科		1 診	窪 誠太	窪 誠太	(第1・3・5週)窪 (第2・4週)嶋田	窪 誠太	—
		2 診	嶋田 理佳子	嶋田 理佳子	—	嶋田 理佳子	嶋田 理佳子
		午 後	【検 査】	【手 術】	【小児外来】※3 (第1・3・5週)窪 (第2・4週)嶋田	【検 査】 (第1・3週・予約) 【補聴器外来】	【手 術】
歯科口腔外科※4		1診(初診・予約)	担当医	吉田 剛	小林 大介	担当医	田中 昭生
		2診(予約)	【手 術】	小林 大介	田中 昭生	田中 昭生	吉田 剛
		3診(予約)	—	田中 昭生	吉田 剛	吉田 剛	小林 大介
		午 後	【手術】／【外科処置】	【外科処置】	【外科処置】	【手術】	【専門外来】

※やむを得ず予定を変更することがあります。
各外来でその旨お知らせいたしますので、
悪しからずご了承ください。

受付時間 平日8:30～11:30

但し、耳鼻咽喉科(火・金)8:30～11:00
眼科(木)13:30～15:30
皮膚科(金)12:30～15:00

※1 総合内科・消化器内科・神経内科・呼吸器内科・膠原病内科・整形外科・
心臓血管外科・循環器内科の不整脈(火・金)の初診受付には
他院からの「紹介状」が必要となります。

※2 皮膚科は再診のみとなります。

※3 耳鼻咽喉科の小児外来(再診) 受付(水)15:00～16:30

※4 ペースメーカー外来・ステントグラフト外来(完全予約制)
歯科口腔外科(紹介完全予約制)

※5 小児科／乳児検診(要予約) 受付(火)13:45～15:00
予防接種(要予約) 受付(月・木)13:30～15:30

外来診察のご案内

●診 察 日 月曜日～金曜日
●休 診 日 土曜日・日曜日・祝日・
年末年始・創立記念日
●受付時間 8:30～11:30

急患の場合は
この限りではありません。

面会時間について

●平 日 14:00～20:00
●休 診 日 10:00～20:00

なお、病状などによってはご面会をお断り
する場合がありますのでご了承ください。

当院では、患者様の安静と治療上のため、
面会時間を定めています。

病院への案内図

